

私は高校の修学旅行で初めて与論島の存在を知りました。初めは与論について何も知識がなく、よくわからない離島にいくなんて嫌で、行ってもなにもないのだろうなと思っていましたが、行ってみると私が抱いていたイメージと全然違うことが分かりました。東京ディズニーランドなどに行くよりもお金を使うこともなく、買い物だけが修学旅行の楽しみとならずに、クラスの友達と自然の中でたくさん遊ぶことができました。また、様々な伝統体験ができ、マリンスポーツ等できれいな海に触れることもできてとてもいい体験になりました。



与論島で私が素敵だなと思う場所はきれいな海と海岸です。日本列島本島や九州地方に住んでいる人はあまり目にすることが出来ない景色だと思うので、一回目にしたら忘れられないと思います。また、海岸の砂もサンゴ礁の死骸で出来ている

ということで大変白くきれいな海岸です。そして星の砂が取れるということでも有名な百合が浜もあります。

あと、与論島の人々は皆さん温かい人たちばかりです。修学旅行で泊まらせていただいた民宿のオーナーさんの方たちもほんの2、3日のみお世話になったただけであるのに終わった後も優しく接してくれました。私が今回鹿児島大学の「島のしくみ」という集中講義に参加して与論島に再び来たときにもおかえりと優しく迎えてくれました。こんなに素晴らしい景色と人々がいる与論島のことを私はこのことを知らない人たちに伝えてないと損だと思



います。だからもっと積極的に受け入れていくべきだと思います。また、一回誘致するとまた次の年もほかの学年が行くことになるかもしれません。するとまた人脈が広がり、高校卒業して次は自分のためにお金で観光として遊びに来ようと思おうと思います。ほかにもヨロンマラソンや十五夜踊りなどのイベントごとの宣伝も積極的にやっていけばいいと思います。私は鹿児島大学の1年なのでまだ良くわからないことも多々あると思いますが、例えばヨロンマラソン

に関しては鹿児島大学生をはじめとして、鹿児島にある様々な大学に呼びかけて参加してもらったらいのではないかと思います。



さび鹿島は島が小さいので一概には言い切れませんが、市内にいて与論を含めた奄美群島の話聞くことはほとんどありません。県外から来た私の友達も与論島の存在を知りませんでした。なかなか難しいことだとは思いますが、もう少し目立って宣伝してもいいのではないかと感じました。大学生がよく目にする場所と言えば、例えば学食が挙げられると思います。期間限定メニュー等で島料理を販売したり、売店で与論島の島菓子をお菓子を販売するなどのことを行うことによって大学生にも知ってもらったらいと思います。講義の観光協会の方は、お話の中で与論は観光の町だとおっしゃっていました。それこそ今年非常に人気だった与論島を一周する人生ゲームを季節ごとに内容を変えて行うなど、年を重ねていくにつれて新しい内容を盛り込んでいくことも良い方法なのではないかと思います。



2013年10月18日

法文学部人文学科  
梶原知沙